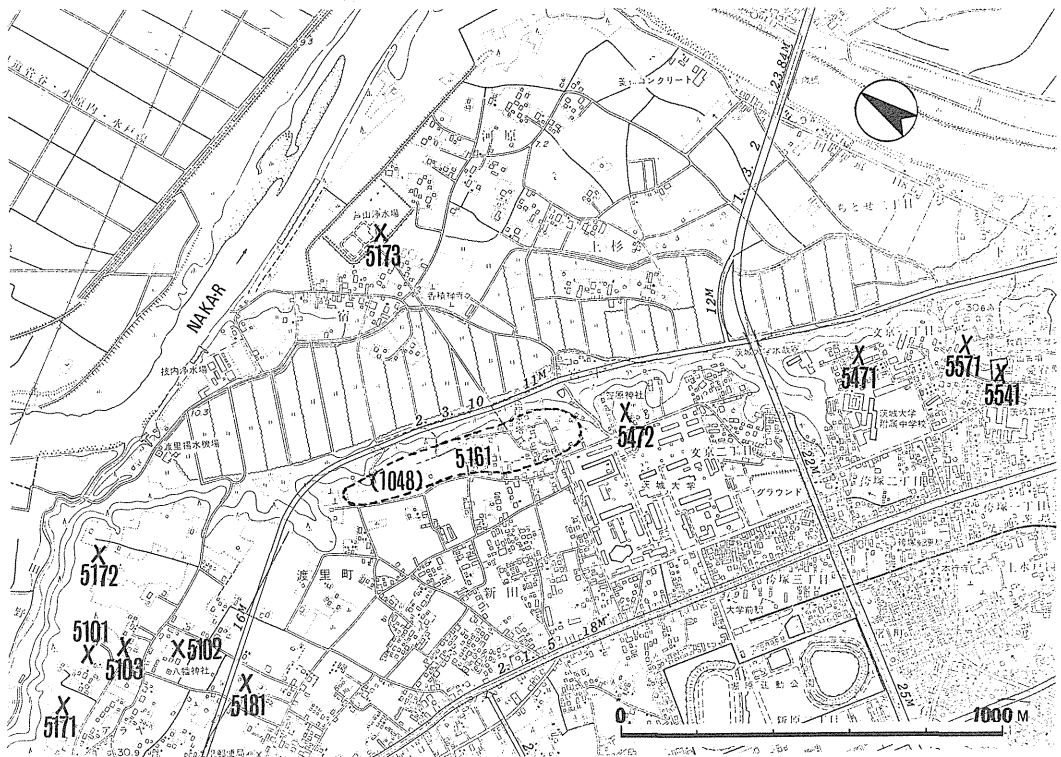


| 種類 | 図版番号 | 法量 | 技法の特徴 | 備考 |
|-----|------|--------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 坏 | 14-8 | 口径 8.3 器高 4.9 底径 5 | 底部、回転ヘラ切り後、ヘラによる調整。ロクロ回転左。 | 焼成良。灰色。胎土、砂礫が含まれる。1/2 |
| 台付皿 | 9 | 底径 4.7 現高 3 | 底部、回転ヘラ切り。ロクロ回転左。 | 焼成良好。黒灰色。胎土、砂礫が含まれる。 |

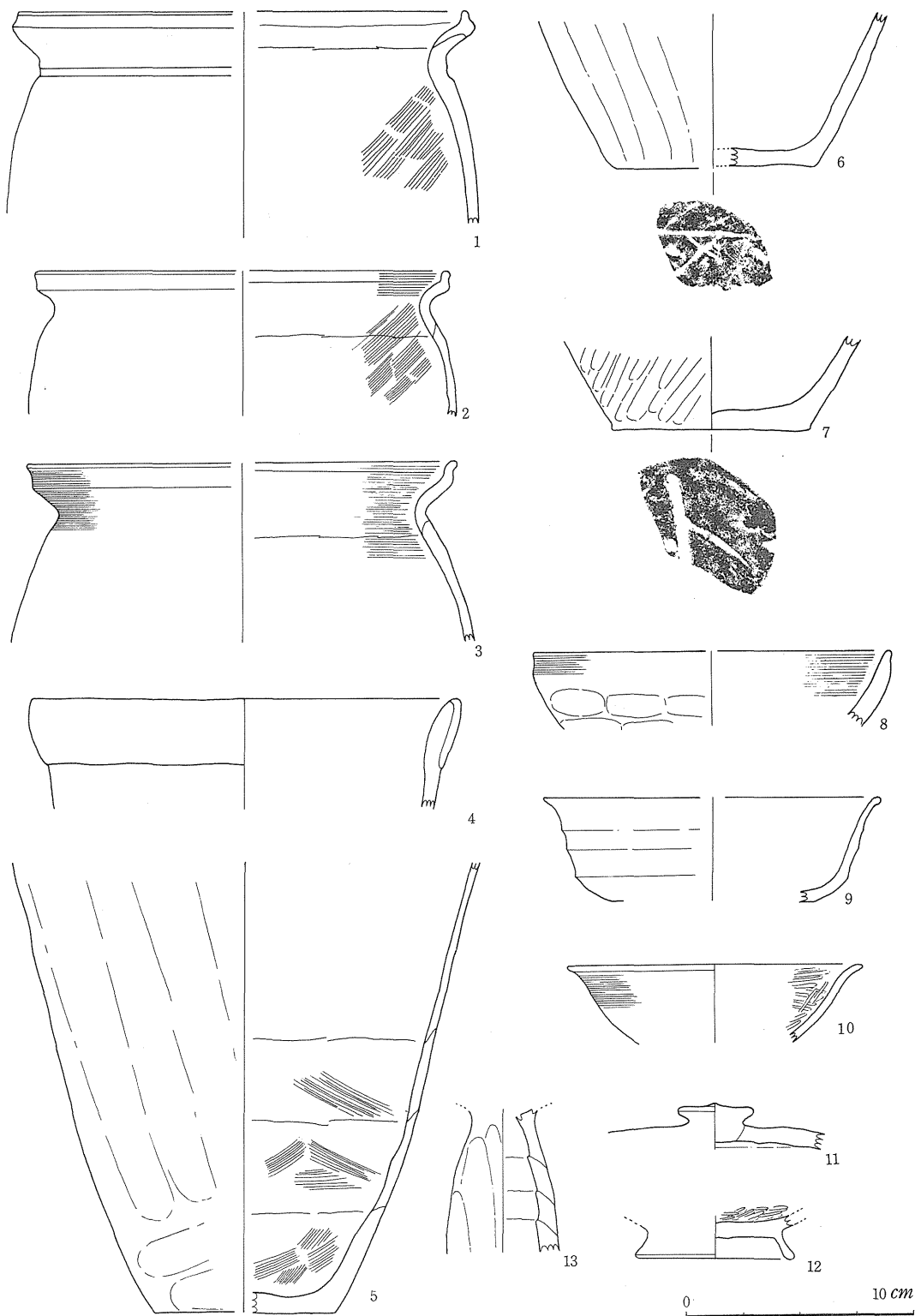
5. 渡里遺跡 Site No. 5161(1048)

本遺跡は、東側においては文京遺跡、西側では長者山遺跡と接しており、那珂川を北東側に見下す洪積台地上に位置する。遺跡の平均標高は32mで北東側の水田面との比高は、22mである。遺跡はほぼ平坦であるが北東側に若干低い所がみられる。

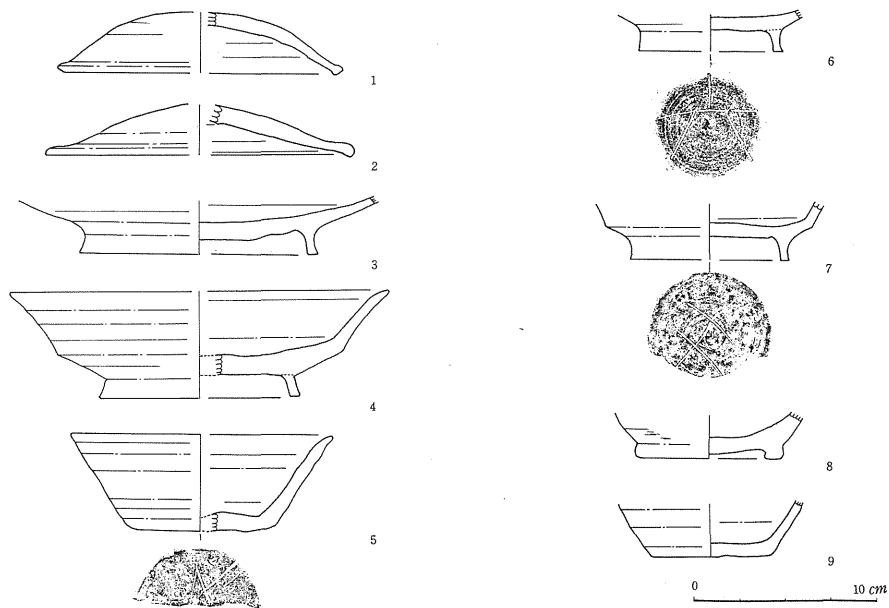
ここは、10年ほど前までは一面畑であったが、近年、宅地化が着々と進み、この台地の半分程が宅地となり、北側と那珂川に面した北東側が、文京遺跡ほどではないにしても、比較的残されているだけにすぎない。遺物は市水道の配水塔付近から勝幢寺にかけての那珂川をのぞむ台地端にみられ、縄文中期の土器を主流として、弥生土器・土師器・須恵器片なども比較的多く見られた。



第 15 図 渡里遺跡位置図



第 16 图 渡里遗迹采集土器实测图(1)



第 17 図 渡里遺跡採集土器実測図(2)

土 師 器

| 種類 | 図版 番号 | 法 量 | 技 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-----|----------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 甕 | 16-1 | 口径 2.0 現高 9 | 体部ナデ。 | 焼成良好, 褐色, 胎土砂粒多, 輪積み痕。 |
| 甕 | 2 | 口径 1.84 現高 6.5 | 口縁部横ナデ, 体部ハケ目。 | 焼成良好, 淡褐色, 胎土長石, 輪積み痕。 |
| 甕 | 3 | 口径 9.2 現高 8 | 口縁部横ナデ, 体部横ナデ。 | 焼成良好, 褐色, 胎土微砂粒, 輪積み痕。 |
| 甕 | 4 | 口径 1.9 現高 4.9 | 体部ロクロ痕。 | 焼成不良, 淡褐色, 胎土小石含, 複合口縁。 |
| 甕 | 5 | 底径 8 現高 2.8 | 体部ヘラ削り, 横ナデ 底部手持ちヘラ切り。 | 焼成良好, 褐色, 胎土微レキ, 炭化物付着, 輪積み痕 1/3 |
| 甕 | 6 | 底径 9.5 現高 8.6 | 体部ヘラ削り。 | 焼成良好, 茶褐色, 胎土微砂粒, 木葉痕。 |
| 甕 | 7 | 底径 9.2 現高 4 | 外底部ヘラナデ。 | 焼成不良, 褐色, 胎土砂粒多, 木葉痕。 |
| 坏 | 8 | 口径 1.6 現高 3.4 | 口縁部横ナデ, 体部ヘラ削り。 | 焼成良好, 黒色, 黒色土師器 (D類・黒色塗料?) |
| 坏 | 9 | 口径 1.5 器高 4.7 底径 9 | 口縁部ロクロ痕, 体部ロクロ痕。 底部回転ヘラ切り。 | 焼成良好, 内面褐色, 外面黒色, 胎土微レキ, 黒色土師器 (B類) |
| 坏 | 10 | 口径 1.3.2 現高 3.5 | 口縁部横ナデ, ヘラ磨き。 体部横ナデ, ヘラ磨き。 | 焼成良好, 内面黒色, 外面褐色, 黒色土師器 (C類-①) |
| 坏 蓋 | 11 | 現高 1.9 | 蓋部ロクロ痕。 | 焼成不良, 淡褐色, 胎土小石含。 |

土 師 器

| 種類 | 図版 番号 | 法 量 | 技 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-----|----------|------------------|-----------------|----------------------------------|
| 高台坏 | 16-12 | 底径 7.2 現高 2.4 | 底部ヘラ磨き, 回転ヘラ切り。 | 焼成良, 内面黒色, 外面褐色, 胎土石英, 黒色土師器(A類) |
| 高 坏 | 13 | 現高 6.5 | 底部ヘラ削り。 | 焼成良好, 赤褐色, 胎土微長石。 |

須 恵 器

| 種類 | 図版 番号 | 法 量 | 技 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-----|----------|-----------------------------|----------------------------------|--|
| 坏 蓋 | 17-1 | 口径 7.6 現高 3.4 | ロクロ回転右。 | 焼成良好。灰色。胎土, 小石が少量含まれる。 |
| 坏 蓋 | 2 | 口径 8.4 現高 2.8 | ロクロ回転右。 | 焼成良好。灰色。胎土, 砂礫が含まれる。内側に自然釉。 |
| 台付皿 | 3 | 底径 6 現高 3 | 底部, 回転ヘラ切り。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。暗灰色。胎土, 小石が少量含まれる。 |
| 台付坏 | 4 | 口径 10.3 器高 5.9 底径 5.1 | 底部, 回転ヘラ切り。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。暗灰色。胎土, 小石が少量含まれる。 |
| 坏 | 5 | 口径 1.3 器高 5.4 底径 3.6 | 底部, 回転ヘラ切り後, ヘラによる調整。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。淡灰色。胎土, 砂礫が含まれる。底部にヘラ書き。口縁部に自然釉。 |
| 台付坏 | 6 | 底径 3.5 現高 2 | 底部, 回転ヘラ切り。 ロクロ回転左。 | 焼成良。外側, 暗灰色。内側, 赤灰色。胎土, 砂礫が含まれる。底部にヘラ書き。 |
| 台付坏 | 7 | 底径 3.9 現高 3.1 | 底部, 回転ヘラ切り。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。灰色, 胎土, 小石が少量含まれる。体部から底部にかけて自然釉。底部ヘラ書き。 |
| — | 8 | 底径 3.1 現高 2.4 | 底部, 回転ヘラ切り。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。白灰色, 胎土, 砂礫が含まれる。底部に自然釉。 |
| 坏 | 9 | 底径 3.2 現高 2.9 | 底部, 回転ヘラ切り後, ヘラ整形。 ロクロ回転左。 | 焼成良好。灰色。胎土, 砂礫が少量含まれる。 |

6. 文京遺跡 Site No. 5472(1077)

大学の裏手に当る文京～袴塚～愛宕という一帯は、既に宅地化が完了している。その中に僅かに点在する畑地は家庭菜園・家用用という性格をもつものである。以前、本遺跡の畑地でゴボウ栽培が行なわれ、手掘り・機械掘りのいずれにせよ、収穫の際の深耕による被害は著しいものがあったと思われる。

以上の理由により、マッピングで得られる各時代の土器片は、他の遺跡に比べると著しく小さく少ない。このためもはや基本的には、湮滅遺跡としての性格を持っており、残念なことであるが、そのリストに加えられる日もそう遠くはない。